

令和 8 年度

仕 様 書

事業名： 【河川】緊急自然災害防止対策事業

工事場所： 竹原市 東野町

工事名： 東野地区浸水対策事業 圧送管渠等整備工事（2工区）

工事概要： 圧送管布設工（ $\phi 500$ ） L=116m
薬液注入工 N=348本
舗装本復旧工 A=746m²
自由勾配側溝 L=49.5m

【添付書類】
特記仕様書
工事数量総括表
図面 等

特記仕様書（個別事項）

第1章 総則

第1節

適用

- 1 本特記仕様書は、東野地区浸水対策事業 圧送管路等整備工事（2工区）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・ **土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版**
 - ・ **特記仕様書（共通事項）（令和8年4月）広島県**
 - ・ **NS形ダクタイル鉄管 接合要領書 呼び径500～1000 （一社）日本ダクタイル鉄管協会**※ 土木工事共通仕様書、特記仕様書（共通事項）は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
 - ・ その他関連規格類

第2節

中間検査

本工事は中間検査の対象工事とする。

第3節

現場代理人の兼務

現場代理人の兼務については竹原市ホームページに掲載している。

<https://www.city.takehara.lg.jp/soshikikarasagasu/zaiseika/gyomuannai/3/kensetsukonsaru/2/1619.html>

第4節

情報共有システム

本工事は、情報共有システムの対象であり、実施については土木工事共通仕様書1-1-1-26 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

第5節

週休2日適用工事

本工事は、週休2日（土日）適用工事（受注者希望型）であり、「竹原市週休2日適用工事等実施要領（令和7年6月1日一部改正）」に従うこと。
なお、工事着手までに「休日取得計画表」を記載した施工計画書を監督職員に提出するものとし、対象期間を明確にするため、工事着手日と工事完了日を計画表に明記するものとする。

※竹原市週休2日適用工事等実施要領については、「竹原市の入札・契約」に掲載している。
https://www.city.takehara.lg.jp/material/files/group/4/syukyu2katekiyokouzi_ziissyioryo.pdf

※様式「休日取得計画表」は「広島県の調達情報HP>公共工事等の情報_様式集>建設工事関係_その他契約関係様式」に掲載している。

第6節

建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。
※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出ししないもの）

第2章 施工条件

第1節 材料費

見積による材料費については、参考図書に添付した見積単価表のとおり公表する。

第2節 工程

1 関連する別途工事

以下の工事について、本工事範囲内にて施工もしくは大型車両の通行があるため、工程調整を行うこと。

なお、別途工事の都合上、IP.5～IP.7+19.99の管布設工については、10/9までに終えること。

別途工事1

工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事
影響箇所	IP.5～IP.7+19.99（車両通行のみ）
工事の内容	橋梁架設工事
時期	令和8年4月～令和9年3月
発注者	竹原市建設部建設課

別途工事2

工事名	大福地西谷線外配水管布設替工事
影響箇所	IP.3～IP.6
工事の内容	配水管布設替工事
時期	令和8年8月～令和9年3月
発注者	広島県水道広域連合企業団竹原事務所

2 交通規制

学校に近接し、かつ交通量の多い箇所であるため、受注者の責により、学校や周辺住民等への周知を密にし、また交通規制の範囲及び期間を最小限に抑えるよう努めること。

第3節 用地

1 仮設ヤード

場所・範囲	山田川遊水池（全体計画平面図に明示）を本工事の仮置き場として想定している。市有地のため、借地料は計上していない。
時期	工事期間中
使用条件	使用範囲を立ち入り防止柵などで囲むこと。
復旧方法	原形復旧とする。

第4節 盛土/埋戻

1 流用土（工事内流用）

本工事の施工により発生する土のうち、301m³（下水）、26m³（道路）（いずれも地山土量）については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

2 購入土（搬入）（建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土）

本工事では、105m³（下水）（ほぐし土量）の土砂購入を見込んでいる。

- (1) 当該工事を使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。）を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費（工場渡し）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用（単価）は変更しない。
- (2) (1)により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について監督職員と協議すること。
- (3) 使用する処理土がセメント及びセメント系固着材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固着材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。

第5節 建設副産物

- 1 建設発生土（搬出） （建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地） （指定処分（A））

当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地に搬出するものとする。

また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所 株式会社中国工業開発新庄残土処分場（竹原市新庄町字松ノ木39-1）

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

第6節 薬液注入

- 1 薬液注入 次の条件を見込んでいる。
工法区分等 参考資料数量計算書のとおり
施工範囲 DCIP管施工区間

- 2 周辺環境調査
施工前・中1回・後の3回地下水の水質を調査すること。

- 3 工法決定
地下水位対策として補助地盤改良工を計上している。
契約後速やかに、受注者において試掘を3箇所程度行い地下水位の状況を確認した後、協議の上で工法を決定するものとする。

第3章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又は、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。

市発注の工事現場における現場代理人の腕章の着用について

工事現場における責任の自覚並びに、現場作業員及び一般住民から見た責任者の明確化のため、現場代理人は「現場代理人」と記載された腕章を見えやすい所に着用すること。

1. 総則

本工事の施工にあたっては、最新の土木工事共通仕様書広島版及びその他関係指針によるものとし、本水道設備に使用する機器・材料については日本水道協会(JWWA)、JIS、JEM、JECなど各規格に準拠するものを使用すること。

2. 配管等使用材料（支給品を除く）

①配管材料等にあつては、規定の表示項目（年号・製造業者・呼び径等）の確認、検査合格証印を打刻・押印・吹付け・鑄出しで表示（あるいは検査合格証紙を貼付）したものを使用すること。

②配管材料等の使用材料の有効年月日は、次表のとおりとする。

材 料 名	有効年月	備 考
ダクタイル鋳鉄管	工事年度製造品	
FRPM 管	※年度当初（7月末迄）工事	
接合材	の場合、製造1年未満まで	ボルト・ナット・パッキン等
管付属品	使用可能とする。	管明示テープ

なお、上記により難しい場合は、監督職員と協議すること。

3. 施工方法

①布設する配水管並びに弁栓類の位置については、事前に監督職員と立会した上で施工しなければならない。

②各部材の締め付けは、所定のトルクを確保すること。

③本工事は、配水管技能者登録証（一般継手・耐震継手）を取得し携帯している者が施工しなければならない。

④本工事で使用するNS形継手用の各種チェックシートについては、一般社団法人日本ダクタイル鉄管協会発行の接合要領書に添付されている各種チェックシートを使用し、その記録をまとめた書類を提出すること。

⑤管の布設高は原則土被り 60cm 以上であるが、他の横断管などで確保できない場合は、下越しによる布設を基本とする。なお、それにより難しい場合は、書面により監督職員と協議の上、施工すること。

⑥受注者は、配水管布設が完了した旨を監督員に報告すること。その後、新設された配水管に漏れがないか確認を行うため、新設の各仕切弁等を全閉し、24 時間水圧状況を観測し、水圧に変動がない(漏れがない)のを確認すること。

4.提出書類

共通仕様書等で定められた提出書類のほか、以下のものを提出すること。

①材料確認書

事前に材料確認書を提出し日程調整の上、材料検査当日に納品書(写し)又は出荷証明書(原本)を提出する。後日、立会時の検査写真と併せて提出すること。

②竣工図

工事進捗に合わせて順次作成を行い、現場作業が完了後速やかに提出すること。

(1) 横断面図は測点毎に作成

1) 道路幅員 2) 掘削幅 3) 床掘幅 4) 道路幅員及び道路境界線からの寄り幅
5) 土被り 6) 測点間の配水管等の管種・口径・延長 7) 地下埋設物の有無

(2) 配管図・配管表

配管時に振られた番号と整合が取れるよう図面を作成すること。

(3) その他指示した図面及び数量計算書

③写真管理

写真管理基準に定めるもののほか、工種毎、測点毎の写真管理を行い、現場作業完了後に速やかに提出すること。

1) 管路土工 2) 布設工(材料毎・測点問わず全延長) 3) 埋設シート敷設(全延長)
4) 空気弁設置(1基毎) 5) 管支持金具設置(1基毎) 6) その他必要な写真

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費1 (下水)				
管路施設(開削工法)		式	1	レベル1
管きよ工(開削)		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
管路掘削		式	1	レベル4
管路埋戻		式	1	レベル4
土材料		式	1	レベル4
発生土処理	現場→仮置場	式	1	レベル4
埋戻土運搬	仮置場→現場	式	1	レベル4
発生土処理	仮置場→処分場	式	1	レベル4
管布設工		式	1	レベル3
強化プラスチック複合管	【600mm】	m	13	レベル4
鋳鉄管		m	116	レベル4
継手類		箇所	33	レベル4
埋設標識テープ		m	463	レベル4
管路土留工		式	1	レベル3
軽量鋼矢板土留		式	1	レベル4
補助地盤改良工		式	1	レベル3

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
薬液注入		本	348	レベル4
開削水替工		式	1	レベル3
開削水替		式	1	レベル4
マンホール工		式	1	レベル2
組立マンホール工		式	1	レベル3
組立2号マンホール		箇所	1	レベル4
付帯工		式	1	レベル2
舗装撤去工		式	1	レベル3
舗装版切断		m	110	レベル4
舗装版破砕		m ²	970	レベル4
搬運搬処理		m ³	43	レベル4
舗装本復旧工		式	1	レベル3
掘削	【土砂 上記以外(小規模)】 【障害無,標準】	m ³	20	レベル4
不陸整正		m ²	682	レベル4
下層路盤(車道・路肩部)		m ²	64	レベル4
上層路盤(車道・路肩部)		m ²	64	レベル4
表層(車道・路肩部)		m ²	746	レベル4
発生土処理	現場→処分場	式	1	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0005

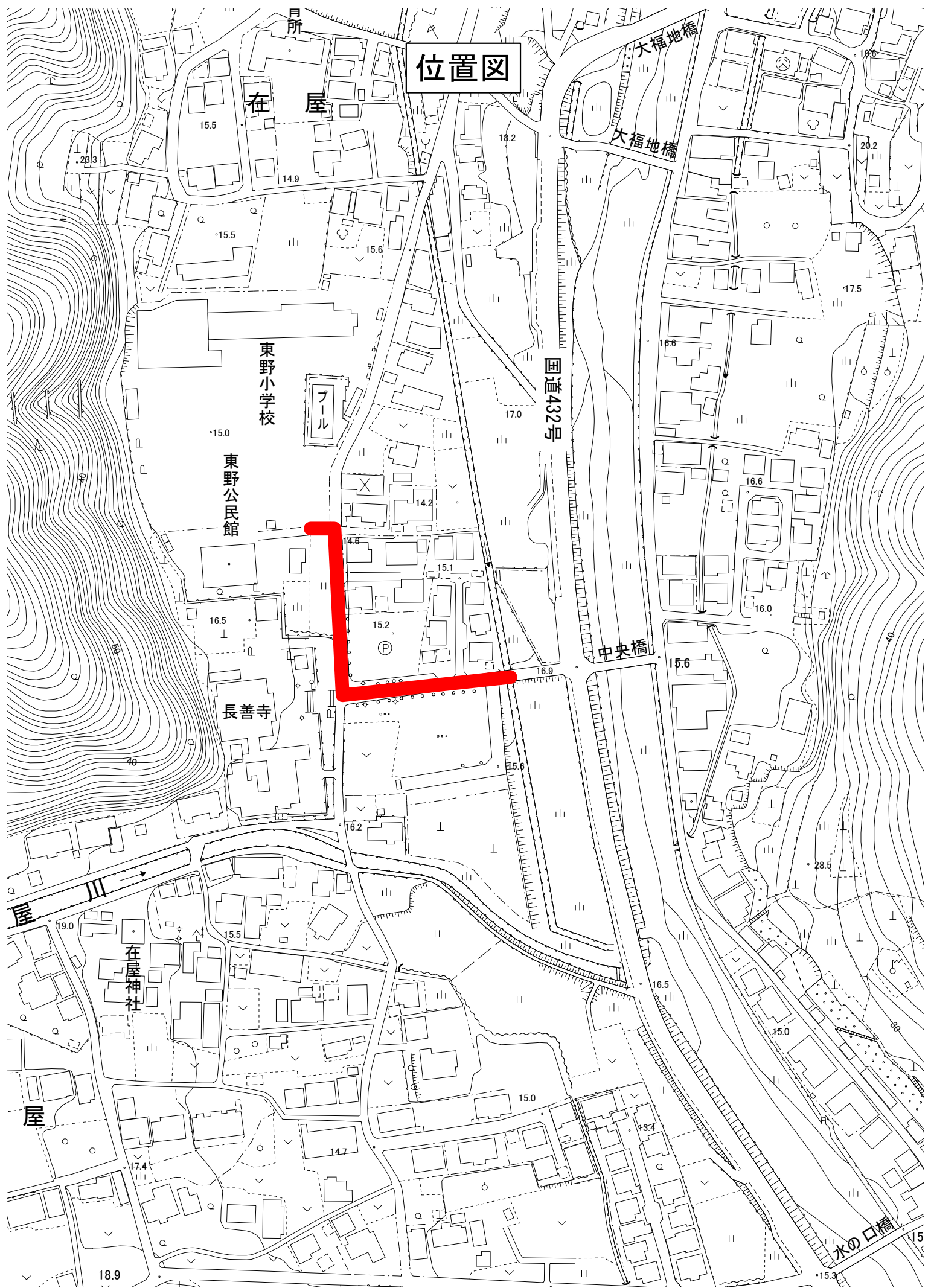
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費2 (道路)				
道路改良		式	1	レベル1
カルバート工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
プレキャストカルバート工		式	1	レベル3
プレキャストボックス	【500*500】	m	10	レベル4
排水構造物工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
側溝工		式	1	レベル3
L型側溝		m	42	レベル4
自由勾配側溝	【かんたん側溝同等品500*各種*2000】	m	49.5	レベル4
側溝蓋	【かんたん側溝同等品用500*500】	枚	99	レベル4
管渠工		式	1	レベル3
暗渠排水管	【掘付 直管 VU300mm】	m	0.8	レベル4
集水樹・マンホール工		式	1	レベル3
プレキャスト集水樹	【各種】	箇所	4	レベル4
場所打水路工		式	1	レベル3
妻壁コンクリート	側溝端部	m3	0.2	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0006

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
構造物撤去工		式	1	レベル2
構造物取壊し工		式	1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	【無筋、機械】	m3	8	レベル4
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	【無筋Co】	m3	8	レベル4
殻処分	【無筋Co】	m3	8	レベル4
全工種共通仮設		式	1	レベル1
仮設工		式	1	レベル2
仮水路工		式	1	レベル3
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	30	レベル4
直接工事費				
運搬費				
運搬費		式	1	レベル2
運搬費		式	1	レベル3
仮設材運搬費		t	9.1	レベル4
共通仮設費率分				
共通仮設費計				

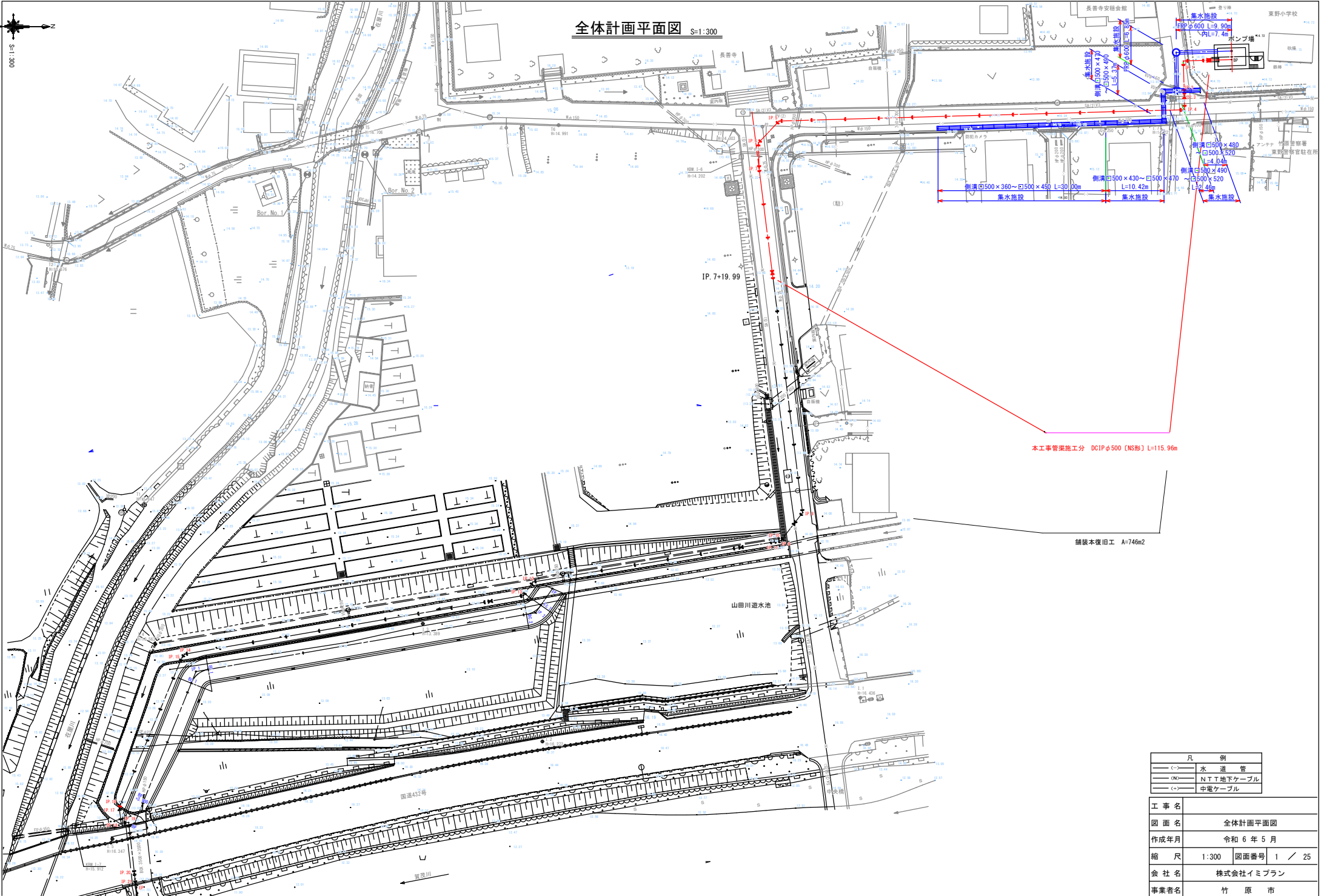
位置図



東野地区浸水対策事業 圧送管渠等整備工事（2工区）

図面目録

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
1	全体計画平面図	1:300	17		
2			18	集水施設平面縦断横断図	1:100, 1:300
3			19	集水施設構造図 (1)	1:20, 1:25
4			20	集水施設構造図 (2)	1:25
5			21	組立2号マンホール構造図	1:20
6	送水管平面縦断図 (1)	1:100, 1:300	22		
7	送水管平面縦断図 (2)	1:100, 1:300	23	舗装復旧平面図	図示
8			24	区画線復旧平面図・付帯工平面図	図示
9			25	掘削標準図断面図・山留工標準図	1:20, 1:30
10	配管詳細平面図 (1)	1:100	追加1	集水施設構造図(3)	
11	配管詳細平面図 (2)	1:100	追加2	集水施設構造図(4)	
12			追加3	既設水路復旧図	
13			追加4		
14			追加5		
15	配管詳細縦断図 (1)	1:100	追加6		
16			追加7		



全体計画平面図 S=1:300

S=1:300

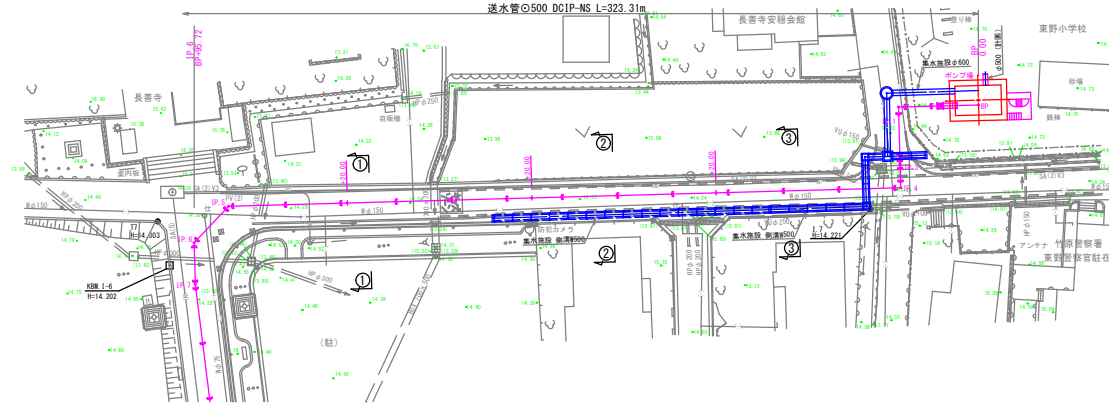
本工事管渠施工分 DCIPφ500 (NS形) L=115.96m

舗装本復旧工 A=746m²

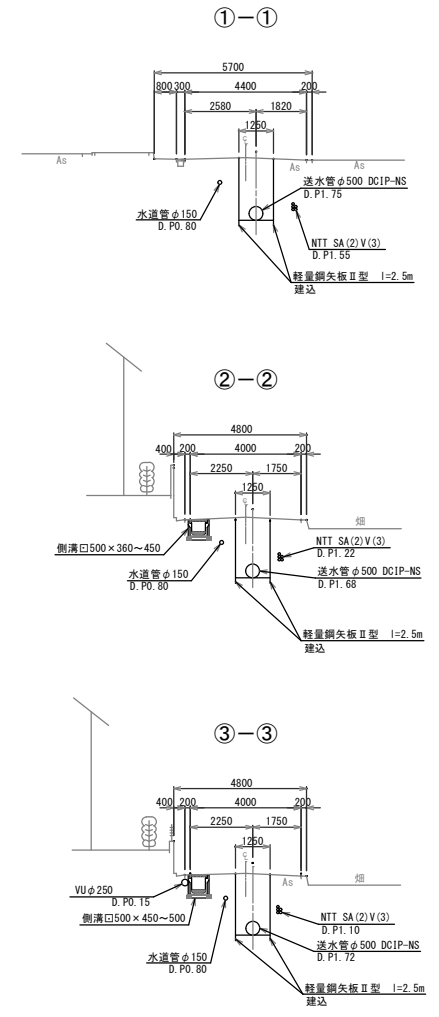
凡 例	
(—)	水 道 管
(—)	NTT地下ケーブル
(—)	中電ケーブル

工事名	
図面名	全体計画平面図
作成年月	令和6年5月
縮 尺	1:300 図面番号 1 / 25
会 社 名	株式会社イミプラン
事業者名	竹 原 市

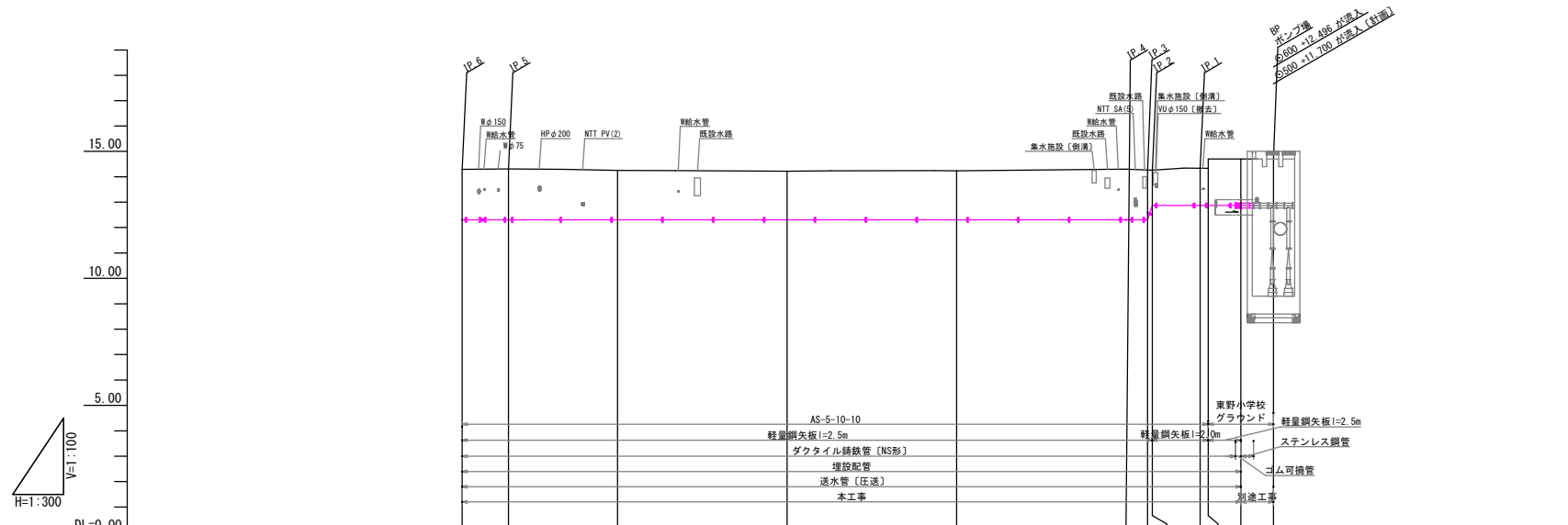
送水管平面図(1) S=1:300



横断図 S=1:100



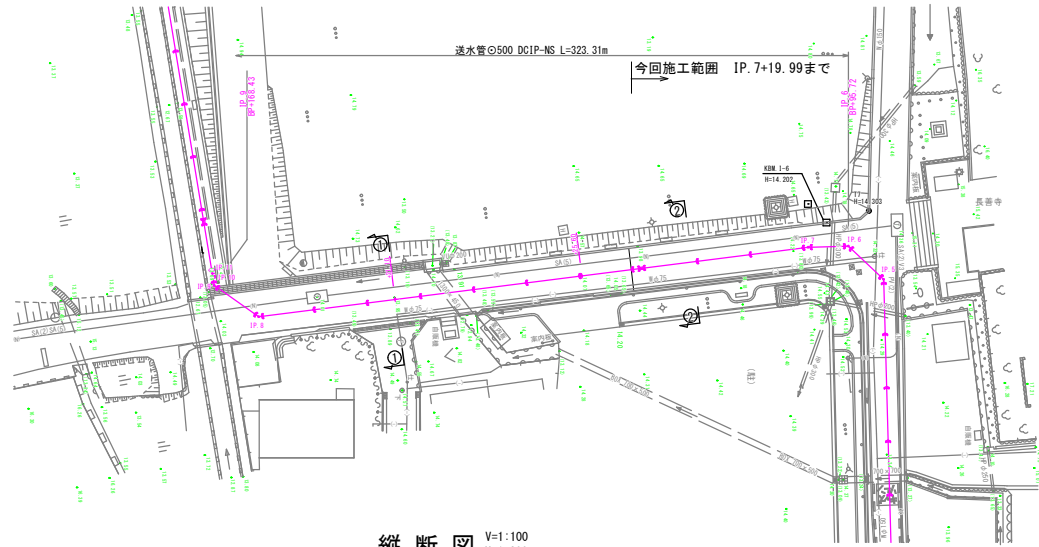
縦断図 V=1:100 H=1:300



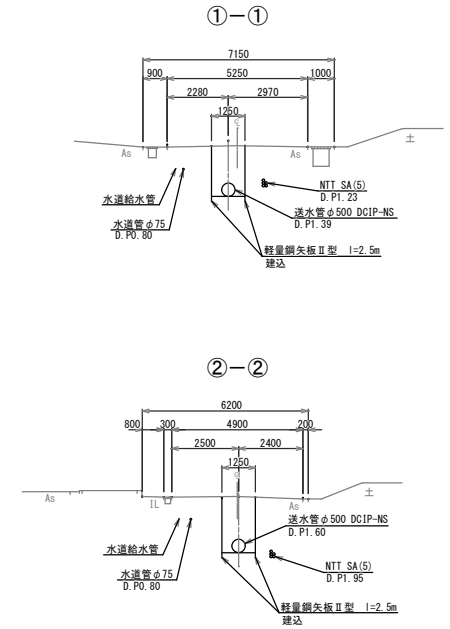
管径	mm											
勾配	%											
区間距離	m											
地盤高	m											
土被り	m											
管中心高	m											
掘削深	m											
単距離	m											
追加距離	m											
管径	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500
勾配	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
区間距離	5.44	5.44	5.44	5.44	5.44	5.44	5.44	5.44	5.44	5.44	5.44	5.44
地盤高	14.29	14.29	14.29	14.29	14.29	14.29	14.29	14.29	14.29	14.29	14.29	14.29
土被り	1.74	1.74	1.74	1.74	1.74	1.74	1.74	1.74	1.74	1.74	1.74	1.74
管中心高	12.55	12.55	12.55	12.55	12.55	12.55	12.55	12.55	12.55	12.55	12.55	12.55
掘削深	2.24	2.24	2.24	2.24	2.24	2.24	2.24	2.24	2.24	2.24	2.24	2.24
単距離	5.44	5.44	5.44	5.44	5.44	5.44	5.44	5.44	5.44	5.44	5.44	5.44
追加距離	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

工事名	送水管平面縦断図(1)
図面年月	令和6年5月
縮尺	1:100, 1:300 図面番号 6 / 25
会社名	株式会社イミブラン
事業者名	竹原市

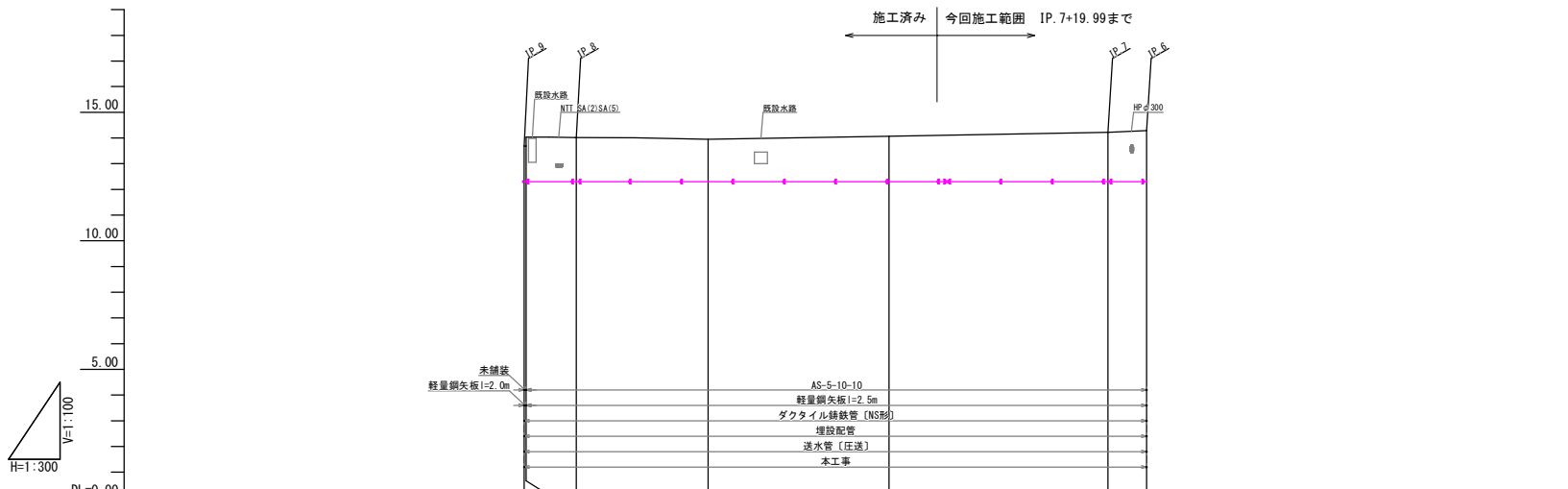
送水管平面図(2) S=1:300



横断面 S=1:100



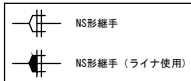
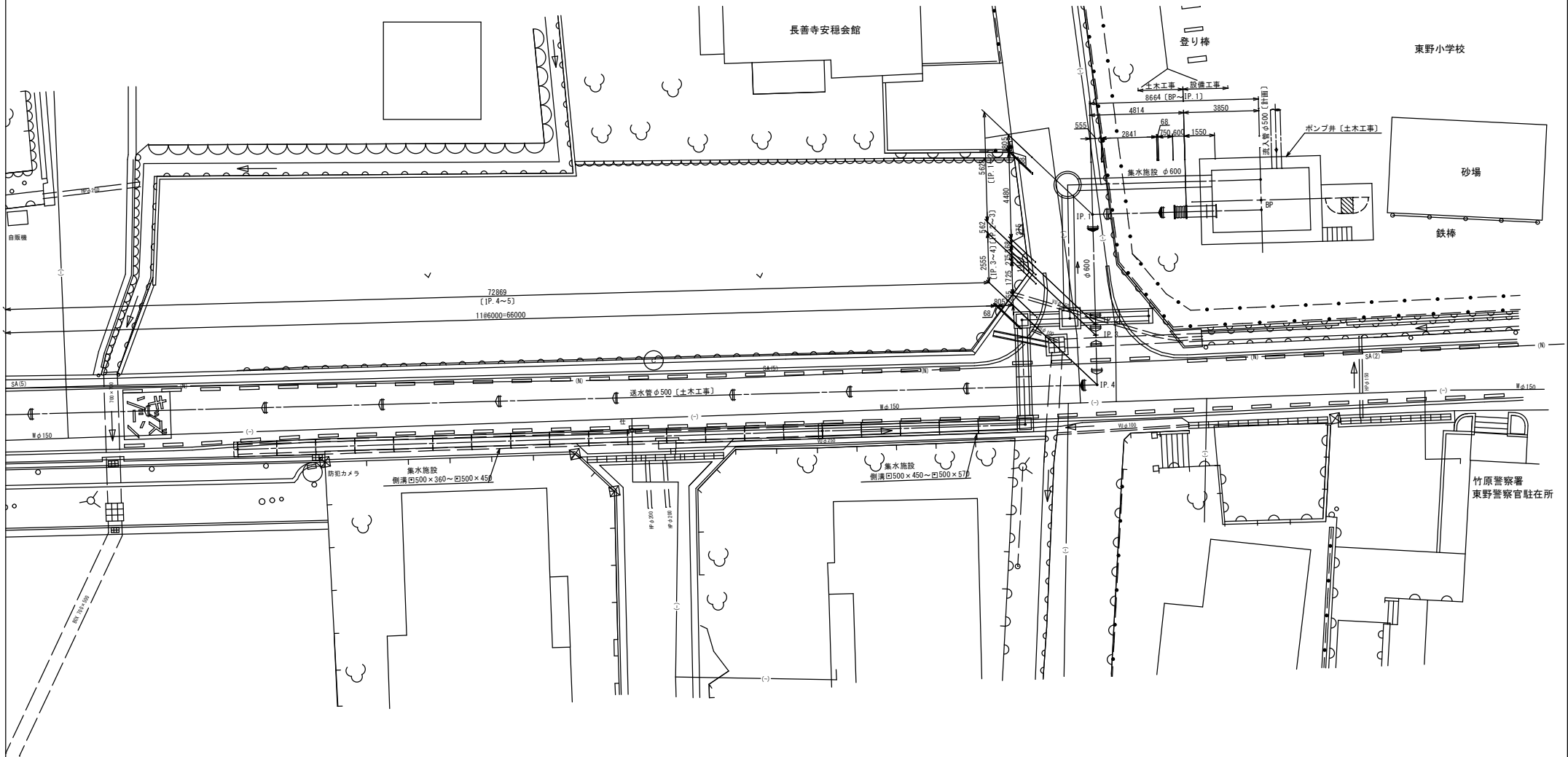
縦断面 V=1:100
H=1:300



管径	勾配	区間距離	地盤高	土被り	管中心高	掘削深	単距離	追加距離
φ500mm	LEVEL	6.09	62.11	4.51				
			158.05 158.25 162.34	1.14 1.14 1.47	12.304 12.304 12.304	1.64 1.64 1.97	0.23 5.66 15.41	
			146.95 125.83	1.40 1.52	12.304 12.304	1.90 2.02	21.10 25.60	
			100.23 95.72	1.67 1.74	12.304 12.304	2.17 2.24	4.51 0.00	

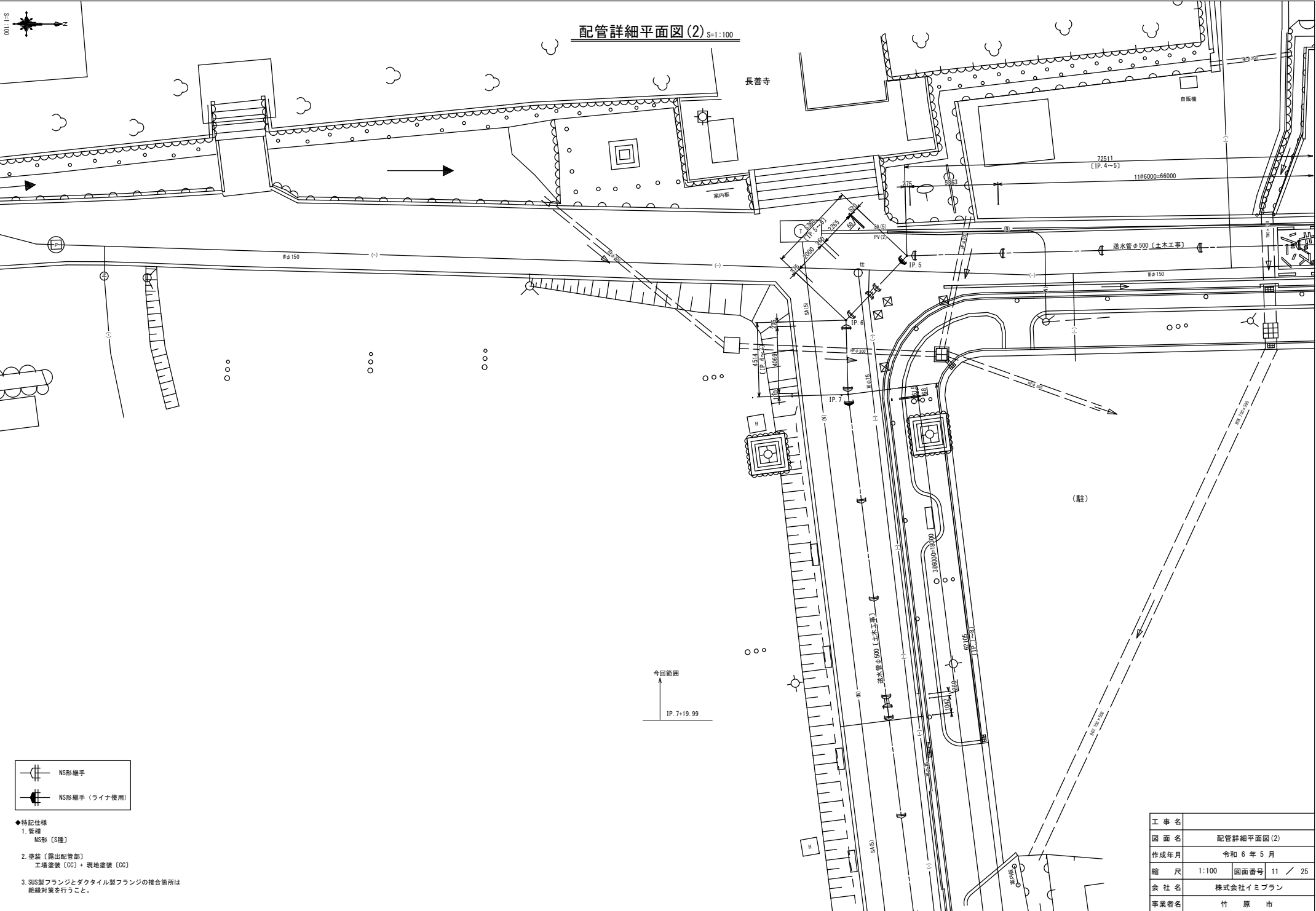
工事名	送水管平面縦断面図(2)
図面名	送水管平面縦断面図(2)
作成年月	令和6年5月
縮尺	1:100, 1:300 図面番号 7 / 25
会社名	株式会社イミブラン
事業者名	竹原市

配管詳細平面図(1) S=1:100



- ◆特記仕様
1. 管種
NS形 (S種)
 2. 塗装 (露出配管部)
工場塗装 (CC) + 現地塗装 (CC)
 3. SUS製フランジとダクタイル製フランジの接合箇所は
絶縁対策を行うこと。

工事名			
図面名	配管詳細平面図(1)		
作成年月	令和 6 年 5 月		
縮尺	1:100	図面番号	10 / 25
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹 原 市		



配管詳細平面図 (2) S=1:100



長善寺

案内板

自販機

72511
(IP. 4-5)

11#6000-66000

送水管φ500 (土木工事)

Wφ150

Wφ150

(駐)

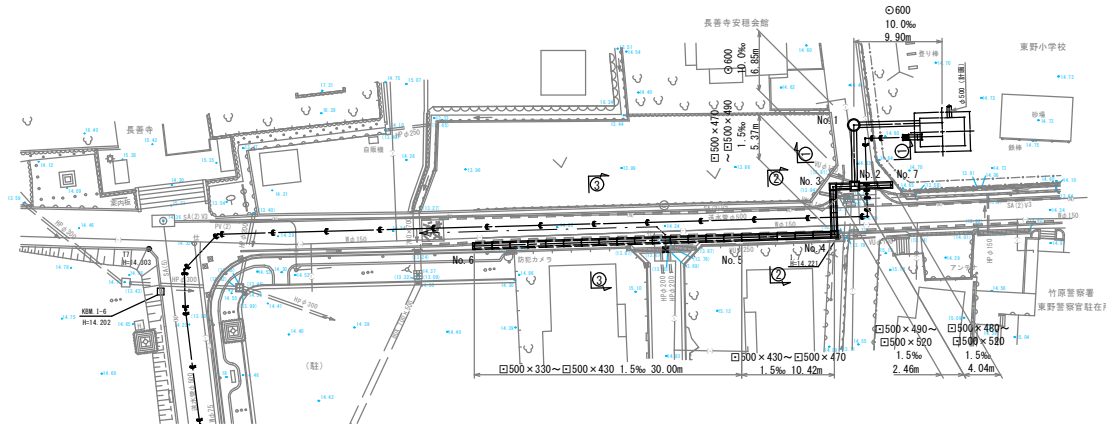
今回範囲
IP. 7+19.99



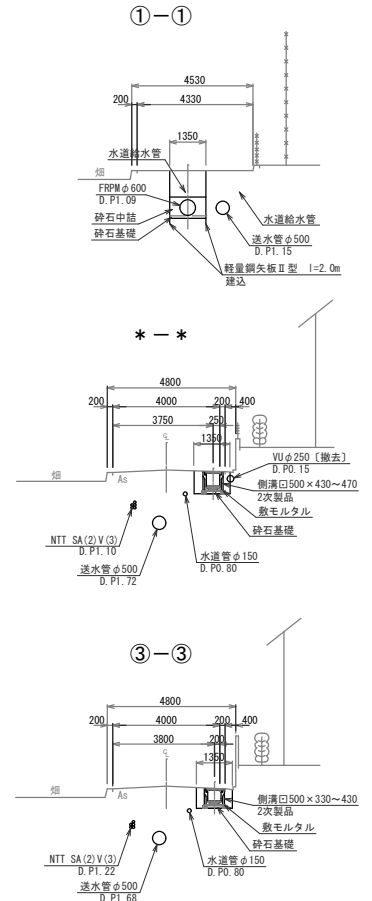
- ◆特記仕様
- 管種
NS形 (S種)
 - 塗装 (露出配管部)
工場塗装 (OC) + 現地塗装 (CC)
 - SUS製フランジとダクタイル製フランジの接合箇所は
絶縁対策を行うこと。

工事名	配管詳細平面図 (2)		
図面名	配管詳細平面図 (2)		
作成年月	令和 6 年 5 月		
縮尺	1:100	図面番号	11 / 25
会社名	株式会社イミブラン		
事業者名	竹原市		

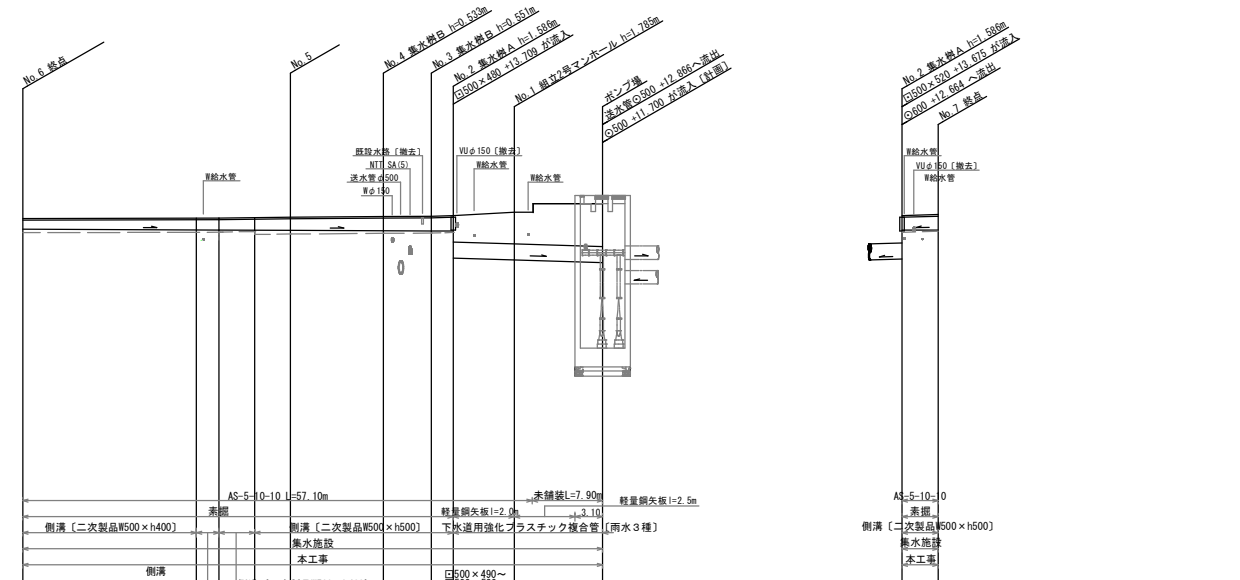
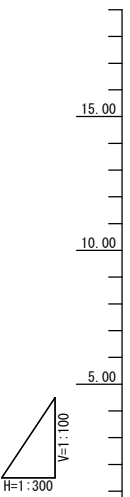
集水施設平面図 S=1:300



横断図 S=1:100



縦断図 V=1:100
H=1:300

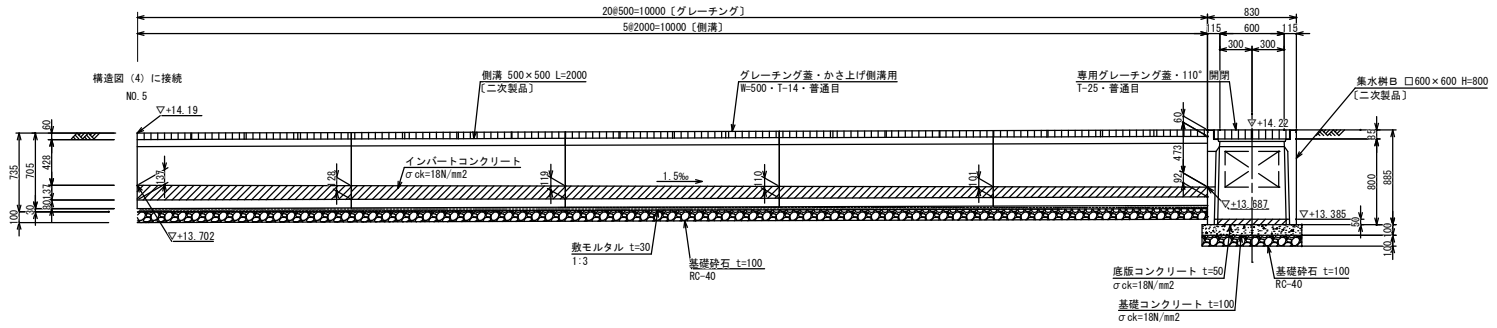


管径	mm	φ500×330~φ500×430	φ500×430~φ500×470	φ500×470~φ500×480	φ600	φ500×480~φ500×520			
勾配	%	1.5	1.5	1.5	10.0	1.5			
区間距離	m	30.00	10.42	5.37	2.46	6.85	9.90	4.04	
地盤高	m	14.14	14.16	14.19	14.22	14.23	14.23	14.25	14.25
土被り	m	-	-	-	-	0.99	1.18	1.60	1.70
管底高	m	0.74+13.748	0.74+13.718	0.74+13.715	0.74+13.709	0.84+13.703	0.84+13.687	0.84+13.679	0.84+13.664
掘削深	m	0.74+20.00	0.74+2.00	0.74+4.00	0.74+4.00	0.84+10.42	0.84+5.37	0.84+2.46	0.84+6.85
単距離	m	-	2.00	4.00	4.00	10.42	5.37	2.46	6.85
追加距離	m	-	-	-	-	10.00	10.00	10.00	10.00

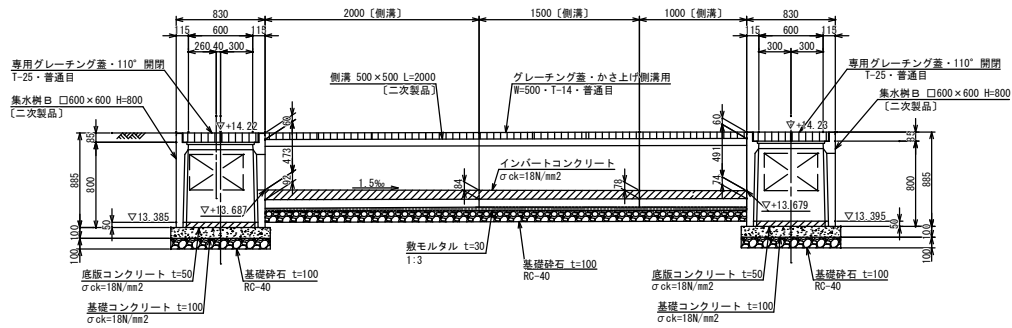
工事名	集水施設3面図
図面名	集水施設3面図
作成年月	令和 年 月
縮尺	1:100, 1:300 図面番号 18 / 25
会社名	株式会社イミブラン
事業者名	竹原市

集水施設構造図(2) S=1:25

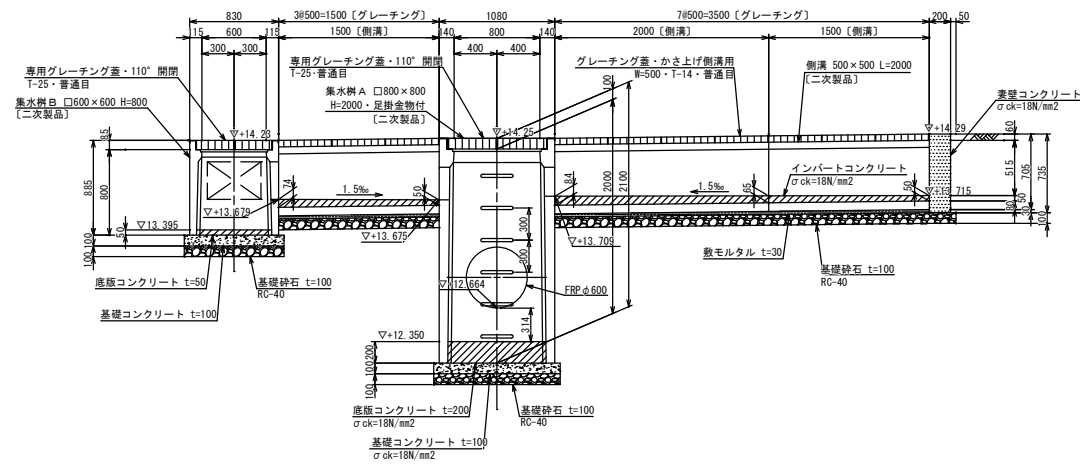
A-A



B-B



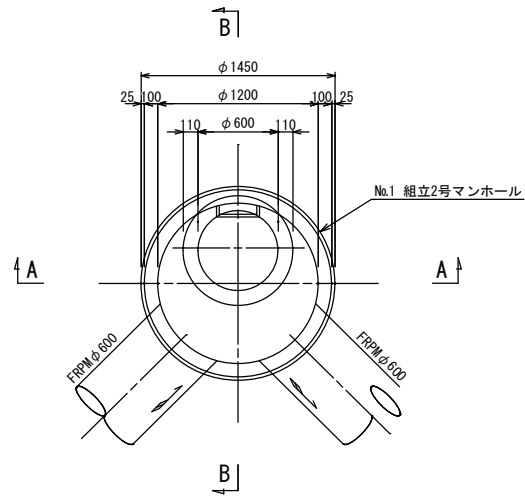
C-C



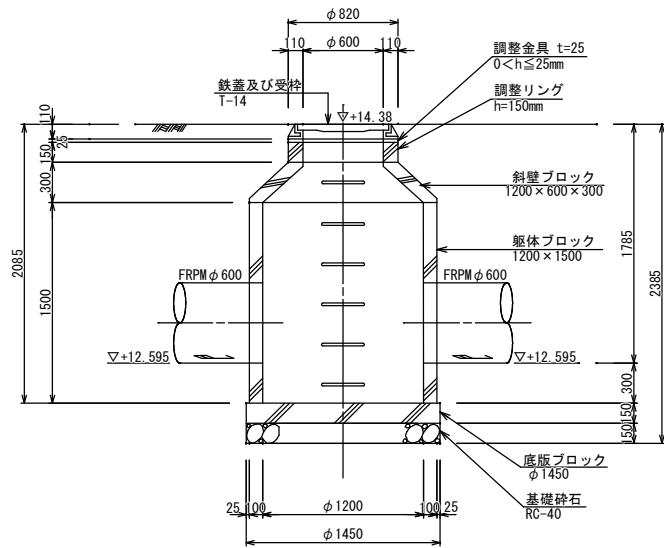
工事名	集水施設構造図(2)
図面名	集水施設構造図(2)
作成年月	令和6年5月
縮尺	1:25 図面番号 20 / 25
会社名	株式会社イミプラン
事業者名	竹原市

組立2号マンホール構造図 S=1:20

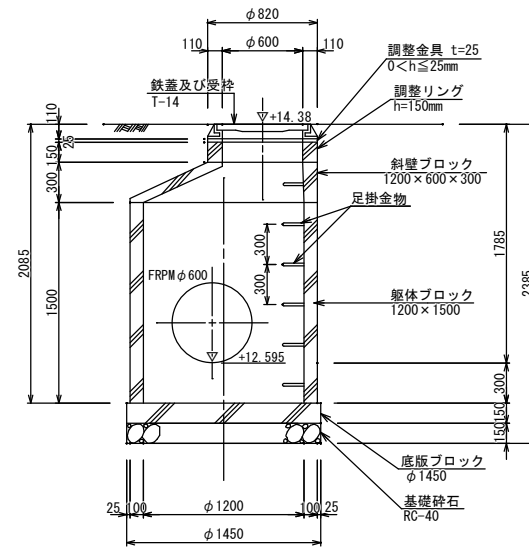
平面図



A - A

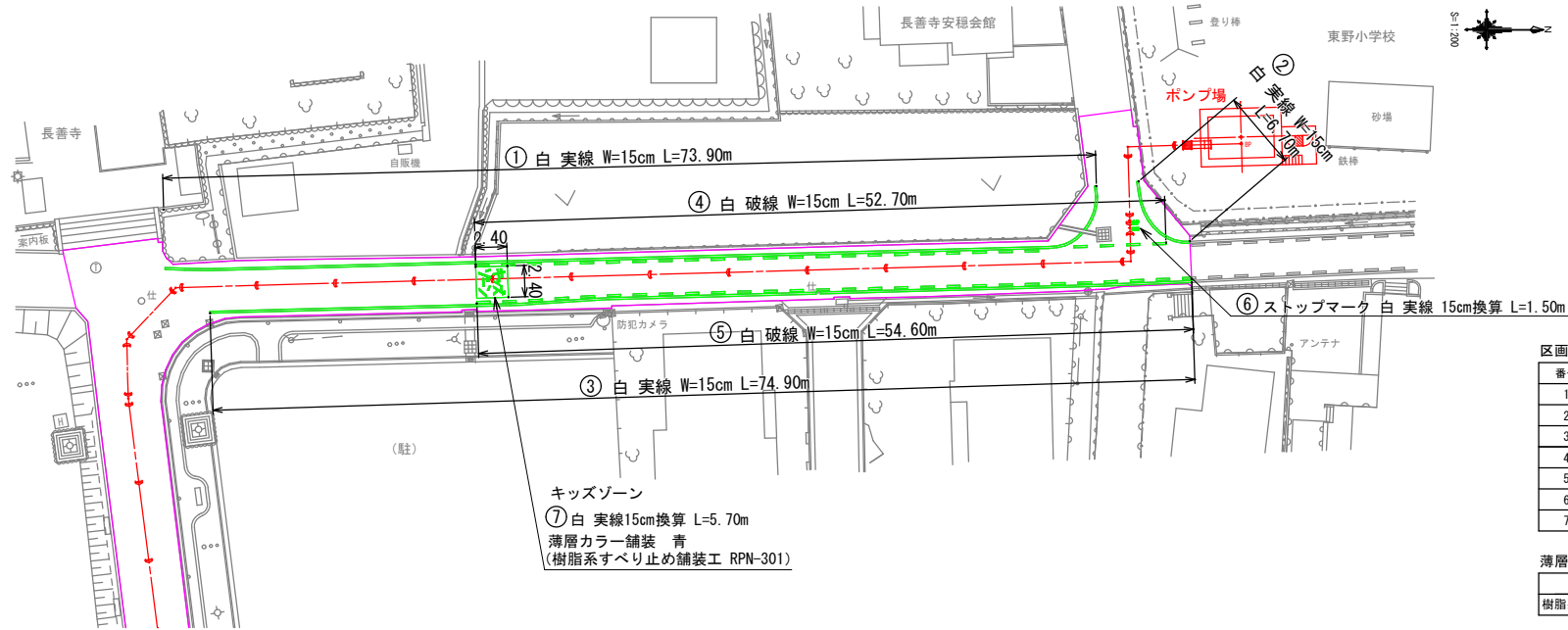


B - B



工事名	
図面名	組立2号マンホール構造図
作成年月	令和6年5月
縮尺	1:20 図面番号 21 / 25
会社名	株式会社イミブラン
事業者名	竹原市

区画線復旧平面図 S=1:200



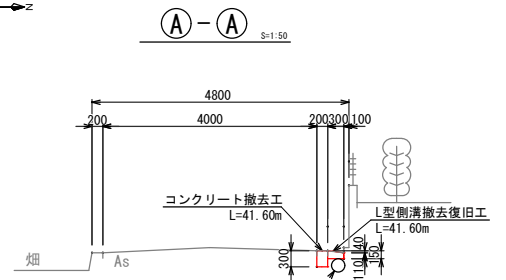
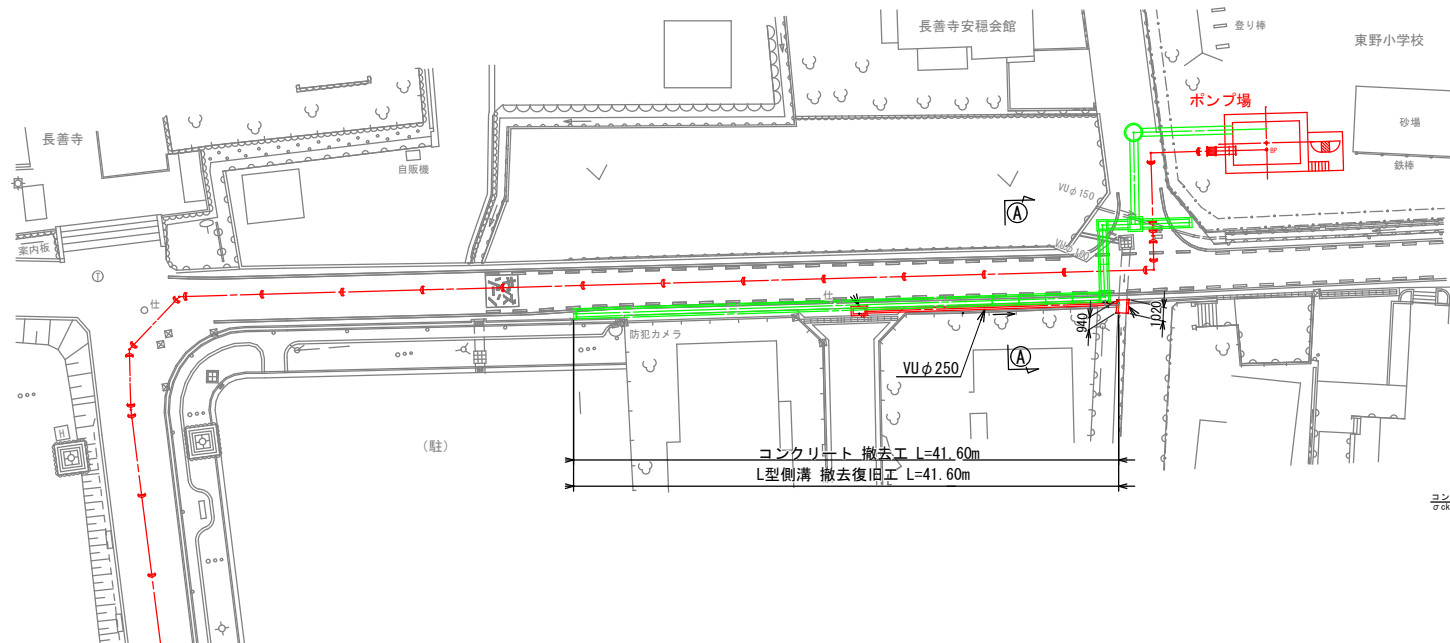
区画線復旧数量表

番号	仕様	色	延長 (m)	備考
1	実線 15cm	白	73.90	
2	実線 15cm	白	6.70	
3	実線 15cm	白	74.90	
4	破線 15cm	白	52.70	
5	破線 15cm	白	54.60	
6	記号 15cm換算	白	1.50	☐ ストップマーク
7	文字 15cm換算	白	5.70	☐

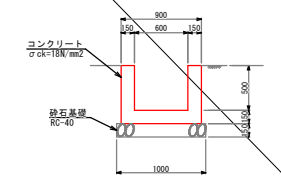
薄層カラー舗装数量表

仕様	色	面積 (m ²)	備考
樹脂系すべり止め舗装工 RPN-301	青	5.8m ²	☐ 2.40×2.40

付帯工平面図 S=1:200



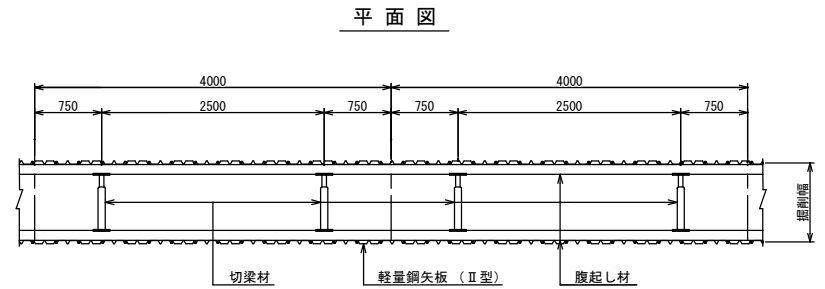
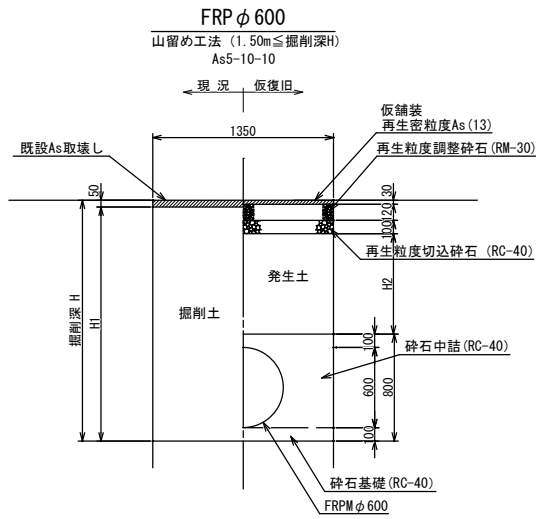
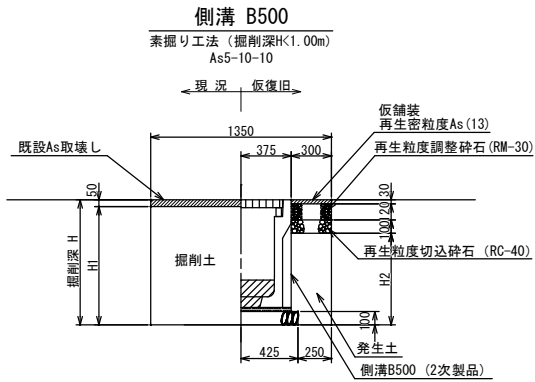
水路撤去復旧工 S=1:30 B600-H500



工事名	区画線復旧平面図・付帯工平面図
図面名	区画線復旧平面図・付帯工平面図
作成年月	令和6年5月
縮尺	図示 図面番号 24 / 25
会社名	株式会社イミブラン
事業者名	竹原市

掘削標準断面図 S=1:20

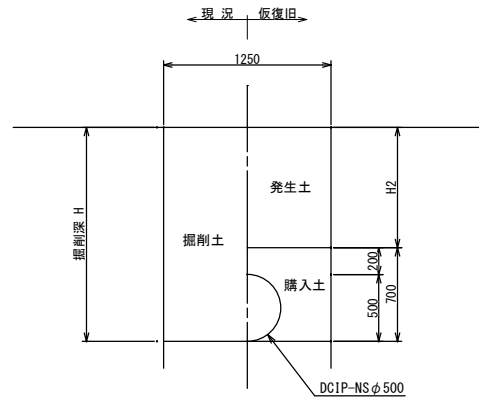
山留工標準図 S=1:30



断面図

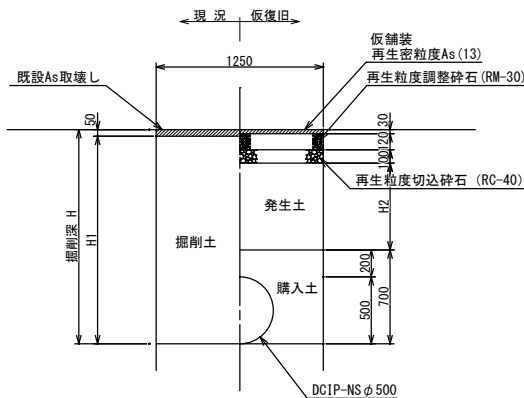
DCIP-NSφ500

山留め工法 (1.50m≦掘削深H)
東野小学校グラウンド内



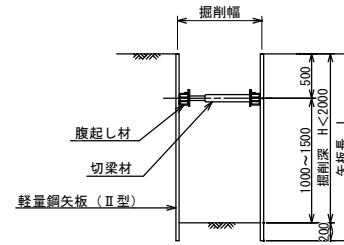
DCIP-NSφ500

山留め工法 (1.50m≦掘削深H)
As5-10-10



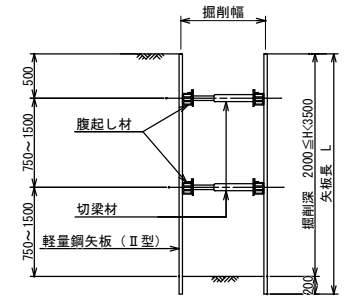
支保工 1段

(1.50m<H<2.00m)
(軽量金属製)



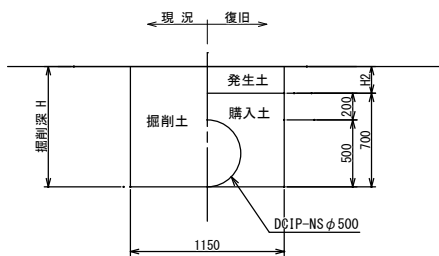
支保工 2段

(2.00m≦H≦3.50m)
(軽量金属製)



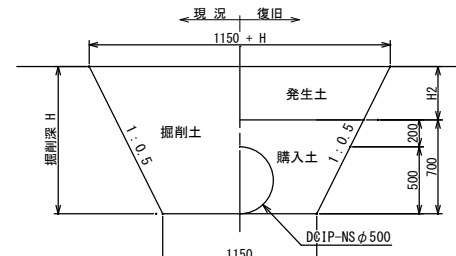
DCIP-NSφ500

素掘り工法1 (掘削深H<1.00m)
未舗装



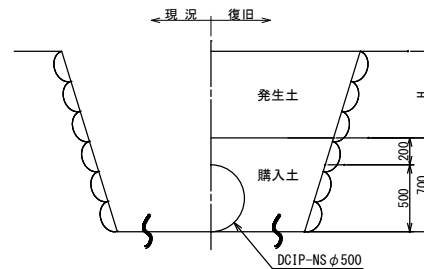
DCIP-NSφ500

素掘り工法2 (1.00m≦掘削深H<1.50m)
未舗装



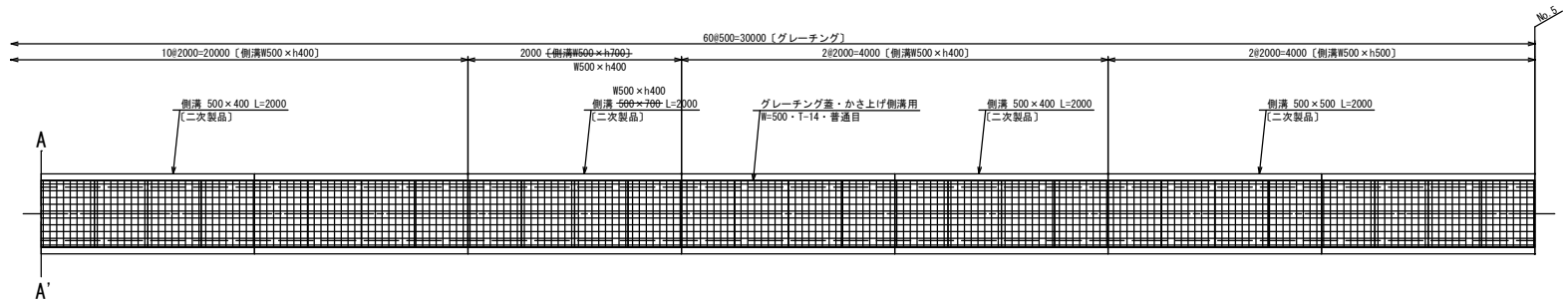
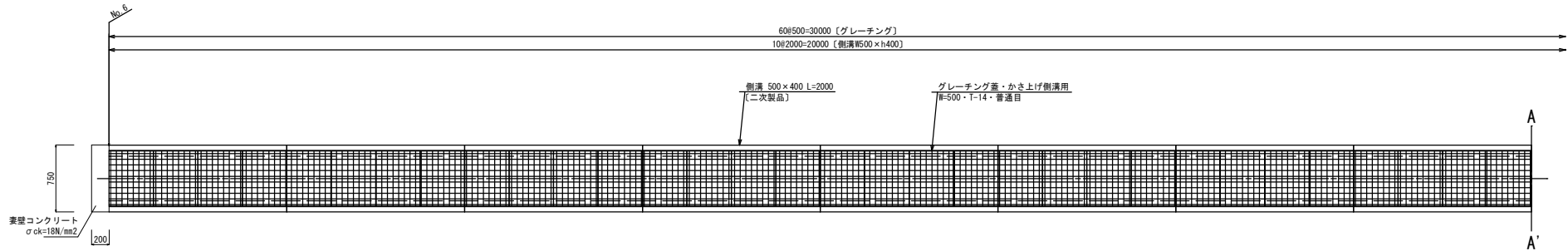
DCIP-NSφ500

既)山田川内, 敷設



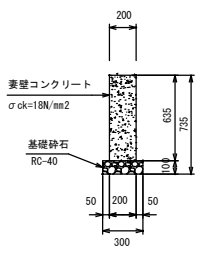
工事名	掘削標準断面図・山留工標準図
図面名	掘削標準断面図・山留工標準図
作成年月	令和6年5月
縮尺	1:20, 1:30 図面番号 25 / 25
会社名	株式会社イミブラン
事業者名	竹原市

集水施設構造図(3) S=1:25

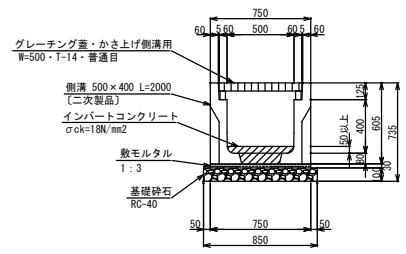


側溝標準図 S=1:20

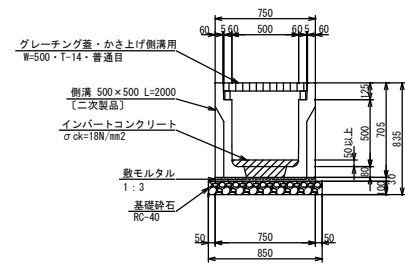
妻壁コンクリート



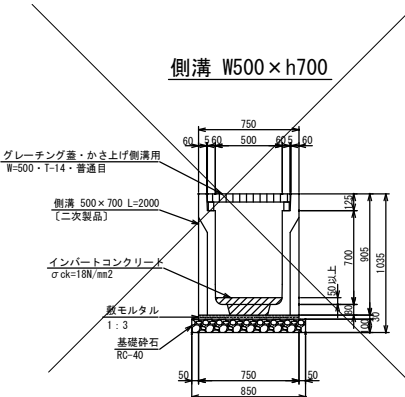
側溝 W500xh400



側溝 W500xh500

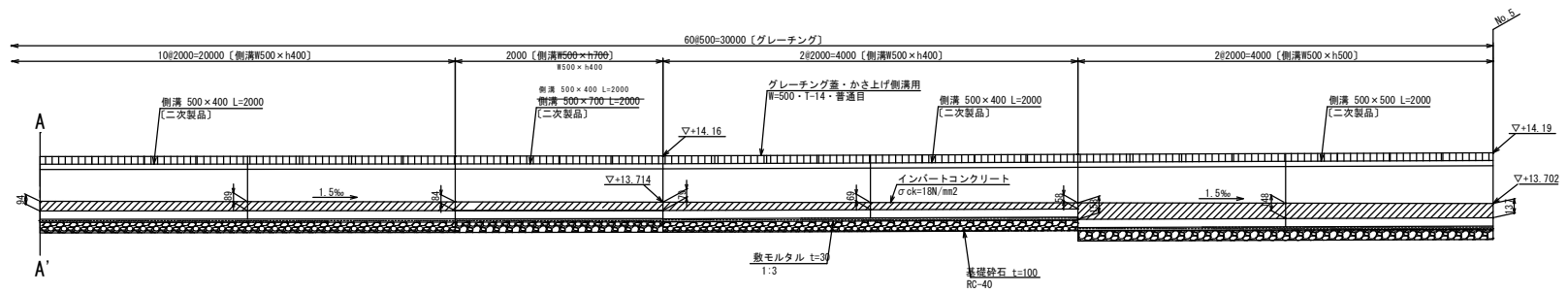
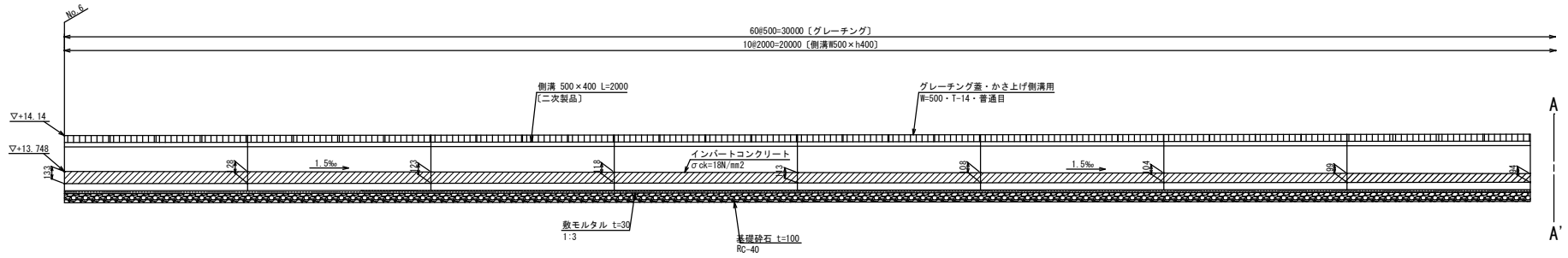


側溝 W500xh700



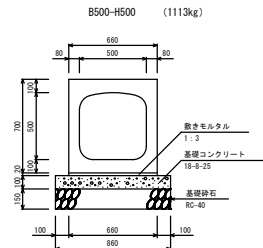
工事名	集水施設構造図(3)		
図面名	集水施設構造図(3)		
作成年月	令和7年4月		
縮尺	1:20, 1:25	図面番号	1 / 追加3
会社名	株式会社イミブラン		
事業者名	竹原市		

集水施設構造図(4) S=1:25



工事名			
図面名	集水施設構造図(3)		
作成年月	令和7年4月		
縮尺	1:25	図面番号	2 / 追加3
会社名	株式会社イミプラン		
事業者名	竹原市		

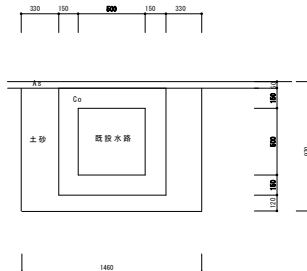
ボックスカルバート構造図



材料表 (10m当たり)

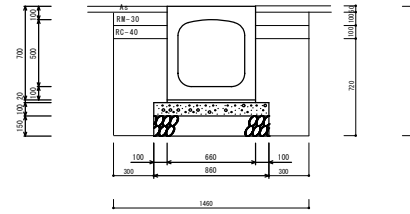
種別	規格	単位	数量
ボックスカルバート	B500-H500	本	3.0
置きモルタル	1:3	m ³	0.132
基礎コンクリート	18-8-25	m ³	0.860
基礎砕石	RC-40	m ³	2.0
基礎砕石	RC-40	m ³	8.60

既設水路撤去図

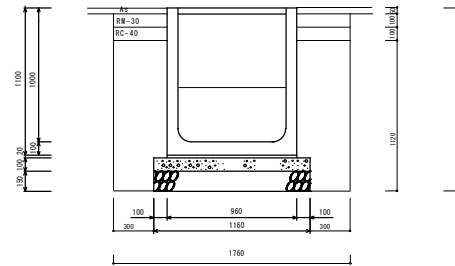


種別	規格	単位	数量
コンクリート撤去	0.15×0.65×4	m ³	0.39
アスファルト		m ²	1.25
土砂	0.30×1.46×0.3×0.3	m ³	0.70

掘削標準断面図



集水桝800*800*1000



工事名			
図面名	既設水路復旧図		
作成年月			
縮尺	図面番号	3	追加3
会社名			
事業者名	竹原市		